

園だより あおいそら 7月号

令和7年6月16日（月）熊本大学教育学部附属幼稚園



♪園長のコラム♪

「Well-being」共に幸せな生活を創る

梅雨に入りました。雨の恵みを感じながらも、ひどい雨で、送り迎え大変お世話になります。レインコート、長靴を身に着けて登園する子ども達、少し、嬉しそうに雨降りを楽しんでいます。

6月3日に行いました父母の会にお出でいただきありがとうございました。高崎先生から「じょうずなほめ方しかり方」のご講話をいただきました。

小さな成長も認めてもらえる
きっと自分ならできると信じられる
うまくいかないときは、誰かに助けを求められる
安心して失敗できる

8月は、守谷先生のお話を
振り返ります

子ども達の心の中に上記の思いがあれば、どんなに叱られても大丈夫なんです。

高崎先生は、いつもおっしゃいます。

「安心して失敗ができる子どもは、安心して挑戦ができる」

これからいろんな事があるでしょう。大人も同じです。生活の中では、楽しいことばかりではなく「思いが通らないこともある。」「友達ともめることもある。」「譲りたくないこともある。」「面白くないこともある。」子ども達はこれからたくさんの経験、遊びの中で様々な感情を体験し、社会的なルールを少しずつ学んでいきます。附属幼稚園では、子ども達の心の中で成長する感情を共感し、解決策を一緒に見出していきます。子どもさんと一緒に立ち止まり、意味を考えることで集団生活を創っていく主体者へと成長します。

これからの明るい未来を支えていく皆様の「Well-being」な生活を大切にしたいと思います。

また、保護者の皆様からたくさんのご感想をいただきました。

＊ほめる基準を子どもの基準まで下げて小さなことでもほめると言うことを降園後から早速実践してみました。お互い幸せな気持ちになり、今まで気付かなかった子どもの小さな成長に気づくことができました。

＊「これができたほうが」「これができねば・・・」と子どもの気持ちを置き去りにしてしまいましたが、子どもの幸せを最優先にすることを忘れず長期的な目で子どもの気持ちを尊重したいと思います。

保護者の皆様は、「ほめ方、しかり方」に関してもいろいろな思いで子育てをされていることが、よく分かります。毎日、お子様と共に嬉しかったり、悩んだりといろんな思いがあるかと思います。一緒に子どもさん方の成長を見守り、支え、育んでいきましょう。たくさんの嬉しい感想をありがとうございました。

附属幼稚園歴史巡り～創立90周年記念植樹 ハナミズキ～

幼稚園の駐輪するところに「ハナミズキ」があります。これは、90周年記念植樹の際に植えられました。この年、同窓会の皆様から記念品として鳥小屋、電波時計、緞帳も寄贈していただき、式典の中でお披露目会をしました。当時、私は宮村前園長と年長組を担当し、60人の子ども達と一緒に「歌えバンバン」を歌い、楽しい会をつくっていきました。

当時の副園長 石川 由里子先生は、「私がここにいる間、たくさんの花や実のなる木を植えていきたい。」と言われ、90周年記念の時、植樹されました。今も大切にしています。

あれから20年、来年もきれいなハナミズキの花を咲かせてくれますよ。

90周年記念植樹



《附属幼稚園が連携している諸機関や研修会》

父母の会の時に、本園の研究についてもお話をさせていただきました。これを機に、本園が、本園の研究がどのようにして地域や諸機関と連携し寄与しているのかをお伝えしていこうと思います。

○熊本県国公立幼稚園・こども園会：県内の幼稚園、こども園と連携し諸問題を話し合い、研鑽する会です。

○熊本県国公立幼稚園後援会連絡協議会：県内の幼稚園後援会（PTA）の連絡協議会です。研修会があります。

○熊本県教育委員会：初任研修会講師として研修会をします。

教育課程研究集会では、本園の先生方が、本園の教育課程や幼児教育について毎年、発表をします。

○熊本市教育委員会：初任研修会、中堅教諭研修会、生活科・総合科研が本園で行われます。先生方が来園され、保育参観と協議会があります。本園の先生方が助言をします。

○熊本大学教育学部：1年生の観察実習、3年生、4年生の教育実習。3年生、4年生の大学講義

附属小学校連絡会、附属中学校職場体験活動等があります。

○文科省委託研究：毎年、全国の附属幼稚園が共同で研究をしていきます。この研究の結果が様々な幼児教育の根幹となります。